

東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた原子力施設への 地震動及び津波の影響に関する安全性評価の実施状況について

当社は、平成23年11月11日付け、旧原子力安全・保安院からの「平成23年東北地方太平洋沖地震の知見を踏まえた原子力施設への地震動及び津波の影響に関する安全性評価の実施について」の指示[※]に基づき、「平成23年東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた原子力施設への地震動及び津波の影響に関する安全性評価実施計画書」（以下「実施計画書」という。）を平成23年11月18日に提出し、評価の状況等を定期的に国に報告しています。

（前回の進捗状況：平成24年10月31日に発表済み）

本日、実施計画書に基づく評価状況について、以下のとおり国に報告しました。

1. 東海第二発電所における津波評価

東海第二発電所における津波評価については、平成24年12月に評価結果を報告することとしていましたが、国の外部有識者会合において津波の新安全設計基準に係る審議が進められていることから、その審議状況を踏まえ引き続き検討を行い、評価が取りまとめ次第速やかに報告します。

なお、評価作業の進捗状況については平成25年1月を目途に報告します。

2. 敦賀発電所における津波評価

敦賀発電所における津波評価については、平成24年12月に評価結果を報告することとしていましたが、国の外部有識者会合において津波の新安全設計基準に係る審議が進められていることから、その審議状況を踏まえ引き続き検討を行い、評価が取りまとめ次第速やかに報告します。

なお、評価作業の進捗状況については平成25年1月を目途に報告します。

3. 敦賀発電所における浦底断層の活動に伴う地盤の変位評価

敦賀発電所における浦底断層の活動に伴う地盤の変位評価については、国における活断層の規模や地震動に関する審議の状況等も踏まえ検討を実施し、評価が取りまとめ次第速やかに報告します。

なお、評価作業の進捗状況については平成25年1月を目途に報告します。

※【平成23年11月11日付 原子力安全・保安院からの指示内容（概要）】

原子力安全・保安院は、当社に対して、以下の評価に係る実施計画の策定及びその評価結果の報告を求めています。

1. 津波堆積物の掘削調査結果を踏まえた敦賀発電所への影響評価
2. 敦賀発電所における活断層の近接箇所の地層変位の評価手法を明らかにし、当該手法に基づき原子炉建屋等に対する影響評価
3. 敦賀発電所における周辺斜面の安定性の再評価及び当該再評価を踏まえた安全上重要な施設等への影響評価
4. 東海第二発電所における断層の活動性及び長さについて再評価し、当該再評価を踏まえた基準地震動の評価

以上

問合せ先：日本原子力発電株式会社

広報室 田口・浦上

TEL：03-6371-7300